

プレスリリース

## ソニー教育財団 園、小・中学校対象

# 「2024 年度ソニー教育助成論文」8 月 1 日（木）より応募受付開始

**最優秀園の助成金を 300 万円に増額・「保育／教育みらい賞」新設等  
保育・教育の質と環境の向上を願い 2024 年度より一部内容を変更し募集**

公益財団法人 ソニー教育財団（会長 根本章二）は、2024 年度「幼稚園・保育所・認定こども園」、「小・中学校」、「小・中学校の教員個人」を対象とした 3 つの教育助成論文の募集を、8 月 1 日（木）よりソニー教育財団ウェブサイトにて開始いたします。

今年度は、保育・教育の質と現場環境の向上のため、園・学校および保育者・教員のみなさまに少しでも助成金や贈呈機器を役立てていただけるよう、論文事業の一部を変更して募集を行います。ご応募いただいたすべての園・学校・教員にソニー製品等を贈呈し、また第三者評価としてもご利用いただける「審査講評」をお送りします。

論文テーマ等詳細は、次ページおよびソニー教育財団のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sony-ef.or.jp/program/>

### 論文事業の主な変更点は以下の通りです。

#### <幼稚園・保育所・認定こども園対象>

- 最優秀園の助成金を 200 万円から 300 万円に引き上げるなど、優秀園、奨励園のすべての助成金が増額
- 対象年齢を 0 歳児からとし、合わせて審査の観点も見直すことで、乳幼児期の教育・保育施設から広く応募を受付
- 優良園に代わり、奨励園から特に個性的な論文に「保育みらい賞」を新設

#### <小・中学校対象>

- 奨励校から特に個性的な論文に「教育みらい賞」を新設
- 論文の対象を「全教科等（教育課程内の活動）」に拡大 ※昨年度より
- 文部科学省、全国都道府県教育長協議会等の後援を得て、国公立・私立問わず幅広い学校教育活動からの応募を受付

#### <小・中学校の教員対象>

- 執筆対象者に管理職を追加

ソニー教育財団は、ソニー創業者の井深大が 1959 年に始めた学校・園への助成（本論文事業）を、65 年以上継続して行っています。未来を生きる子どもたちのために、教育・保育の実践に情熱をもって取り組む先生方からのご応募をお待ちしています。



### 3つの教育助成論文

#### 「保育実践論文」「教育実践論文」「未来へつなぐ教育計画」募集概要

応募方法：<https://www.sony-ef.or.jp/program/>

募集期間： 2024年8月1日（木）～9月2日（月）15時送信完了分まで  
※Web応募のみ

入選発表： 2025年1月中旬以降に当財団のウェブサイトで発表

#### ◆「保育実践論文」 幼稚園・保育所・認定こども園対象

論文テーマ： 「科学する心を育てる」

～豊かな感性と創造性の芽生えを育む～

子どもたちの主体的な遊びや生活を大切にした、「豊かな感性」と「創造性の芽生え」を育むための保育実践とその考察に基づく今後の方向性を募集します。

助成内容： 最優秀 300万円・優秀 50万円・奨励 10万円・保育みらい賞 15万円の教育助成金とソニー製品等、さらに全応募園にソニー製品等を贈呈

#### ◆「教育実践論文」 小学校・中学校対象【全教科等】

論文テーマ： 「科学が好きな子どもを育てる」

「科学」とは理科に限ったものではありません。

子どもたちの主体的で生き生きとした学びと「科学的な思考」をもった探究の姿を通して、個性ある実践、他校の参考になる取り組みについてまとめた論文を募集します。

助成内容： 最優秀 300万円・優秀 50万円・奨励 10万円・教育みらい賞 15万円の教育助成金とソニー製品等、さらに全応募校にソニー製品等を贈呈

#### ◆「未来へつなぐ教育計画」 小学校・中学校の教員個人対象【全教科等】

論文テーマ： 「子どもたちに必要な課題解決能力や探究心を育てる」

これからの時代を生きていくためには夢と好奇心と高い志を持ち、未知のものを探究し、新しいものを創造していこうとするなどの資質や能力が求められます。こうした資質を伸ばし、能力を育成するための教育方針と実行計画について提案してください。

助成内容： 入選 10万円の研究助成金、さらに全応募者にソニー製品等を贈呈

受賞の翌年には、受賞園・受賞校による公開保育や公開授業等を通して、優れた実践を広く発信するとともに、保育者・教員同士が学びを深める機会を提供しています。

## 公益財団法人 ソニー教育財団 —60年以上に亘るソニーの教育助成—

ソニー創業者 井深大は、次世代を担う子どもたちの科学教育の充実のため、1959年に学校への「ソニー理科教育振興資金」の助成活動を開始しました。その後、井深の関心は乳幼児期の教育と人の心を育てることの大切さへと拡がり、1969年に「幼児開発協会」を設立しました。

井深の志を受け継ぐこれらの事業を継続的に発展させるため「ソニー教育財団」となり、現在はおもに乳幼児期から高校生までの「科学する心を育てる」「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱にした教育助成を行っています。

不確実な時代を生きる子どもたちが、どのような困難にも好奇心と信念をもって立ち向かい、明るい未来を切り拓いていけるよう、子どもたちの「科学する心」を育む環境づくりを応援しています。



ソニー創業者 井深大

※ソニー教育財団が考える「科学する心」とは

<https://www.sony-ef.or.jp/kagakukokoronet/pdf/kagakusurukokoro.pdf>

- 名称：公益財団法人 ソニー教育財団
- 会長：根本章二
- 所在地：東京都品川区北品川 4-2-1
- 電話：03-3442-1005
- 公式ウェブサイト：<https://www.sony-ef.or.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団（担当：山下）TEL:03-3442-1005